

## 関東学生卓球連盟・事業実施細則

### 第 10 条 関東学生卓球チームカップ（主催 関東学生卓球連盟）

#### 1. 種目

男子団体戦・女子団体戦。（1 校から複数チームの出場を可能とする）

#### 2. 試合方法

世界選手権方式（3 人の出場による 5 シングルス 3 点先取制）。

A B C A B

| | | | |

X Y Z Y X

予選リーグ・決勝トーナメント方式を基本とする。

参加数、及び会場の事情等に応じ、詳細は柔軟に対応するが、出場チームが複数試合を出来るよう、最大限の配慮を行なう。

又、本大会のチームは同校の選手同士で構成されなければならない。

#### 3. 登録規定

##### (1) 出場人数

各チームは、3～5 名の選手によって構成される。

##### (2) ベンチには上記 5 名以内の登録選手の他、アドバイザー 1 名が入ることが出来る。

選手は関東学連登録済みの大学生であること。

アドバイザーに関しては特に規定を設けない。

（社会人・学生等を問わず、又、選手兼任でも良い。試合中の出入りや交代も認める）

選手の変更は一切認めない。3 名の選手が試合時に揃わない場合は不戦敗となる。欠員は認めない。よって、事故等に備え、4 名以上の選手によるチーム編成を推奨する。

アドバイザーの変更に関しては、一切の申請を必要としない。

##### (3) 外国人留学生選手に関しては、ベンチエントリーの制限はしないが、1 試合における起用は 1 名に限る。

（日本人選手 2 名が最低必要なので、自動的に外国人留学生選手のベンチエントリー上限は 3 名となる）。

但し、起用された 1 名の外国人留学生選手が 2 点起用箇所（A・B・X・Y）に出場することも可能とする。

#### 4. ブロック分け

(以下の部(1～6部)は、当該年度秋季関東学生リーグ戦の編成による。入替戦の結果は考慮しない。)

Aブロック 男女とも1・2部で、メンバーに当該年度全日学出場者(単複いずれか1種目でも出場した者)、または当該年度全日学選拔出場者を1名でも含むチーム。

Bブロック 男女とも1・2部で、メンバーに当該年度全日学出場者(単複いずれか1種目でも出場した者)、または当該年度全日学選拔出場者を1名も含まないチーム。

Cブロック 男女とも3・4部のチーム。

Dブロック 男女とも5部以下のチーム(5部・6部・編成外)

大会は、D→C→B→Aの順に、約1ヶ月に渡って行なう。

下位ブロックでベスト4以内に入ったチームは、上位ブロックに参戦する権利を得る。その際、追加の参加料は必要としない。

各ブロックにおける男女別の参加チーム数が4に満たない場合は、そのブロックの開催を男女別に中止し、上位ブロックへの自動参戦とする。

#### 5. シード規定

本大会は、年により開催時期が変更し、シードの参考にできる大会が変わるなど、他大会と比較し、不確定要素が多いため、厳密なシード規定を制定しない。但し、次の点を考慮し、強さのバランスを取ることを基本とする。

(1) 当該年度関東学生選手権の結果。

複数のシングルスランカーを擁するチームは上位シードとする。

ダブルスの成績は、必要に応じて参考とする。

(2) 当該年度の団体戦の結果。

可能な範囲内で最新の団体戦の結果を参考とする。

秋季リーグ戦→インカレ→春リーグ、の順。

(3) その他の大会の成績。

可能な範囲内で、当該年度全日学、前年度全日本、前年度全日学選抜、前年度全日学、当該年度関東新人戦などの大会の成績を考慮する。

その際、各大会における外国人選手の出場資格なども十分考慮する。

#### 6. その他

本大会は、可能な範囲内で土日祝日の開催を出来るよう、最大限の配慮を行なう。特に、下位ブロックにおいては、休日開催を原則とする。

各ブロックの上位進出チームには、奨励賞や賞品などを授与する。

大会運営の都合上、試合開始時より2台進行、3台進行を行なう場合もあり得る。